

氏名	岡崎布佐子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 2460号
学位授与の日付	平成15年3月25日
学位授与の要件	医学研究科内科系皮膚科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Initial Recruitment of Interferon- $\gamma$ -Producing CD8+ Effector Cells, Followed by Infiltration of CD4+ Cells in 2,4,6-Trinitro-1-Chlorobenzene(TNCB)-Induced Murine Contact Hypersensitivity Reactions (2,4,6トリニトロ1クロロベンゼンによるマウスの接触皮膚炎はインターフェロンガンマ産生CD8細胞に誘導される)
論文審査委員	教授 中山 睿一 教授 谷崎 勝朗 教授 谷本 光音

学位論文内容の要旨

接触皮膚炎はCD4+T細胞特にTh1細胞により惹起されると考えられてきたが、近年CD8+T細胞特にTc1細胞により惹起されCD4+により制御されているという報告が相次いでいる。我々は、ハプテンであるTNCBと蛋白抗原であるダニ抗原における接触皮膚炎の皮膚と所属リンパ節のリンパ球サブセットおよびサイトカイン発現を免疫染色、flow cytometry、RT-PCRを用いてマウスモデルで検討した。TNCBによる接触皮膚炎ではIFN- $\gamma$ 産生CD4+T細胞(Th1)、IFN- $\gamma$ 産生CD8+T細胞(Tc1)ともに炎症に関与しているがIFN- $\gamma$ 産生CD8+T細胞(Tc1)の方が大きく、ダニ抗原による接触皮膚炎ではIL-4産生CD4+T細胞(Th2)が主に浸潤していた。

論文審査結果の要旨

本研究は、ハプテンであるTNCBと蛋白抗原であるダニ抗原による接触皮膚炎に関する免疫細胞を検討したものである。この結果、TNCBの場合、IFN- $\gamma$ 産生CD8T細胞が主に関与し、一方、ダニ抗原の場合、IL-4産生CD4T細胞が主に関与していることを明らかにした。これは、接触皮膚炎の免疫病態の解明に重要な知見であり、価値ある業績であると認める。よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。